

実現した市民の願い

～日本共産党市政・都政報告会から～

市民の声が広がって、それを議会で取り上げてきたからこそ、進んだことがあります。

「〇〇党がやりました！」じゃありません。市民みんなの力です。

今後は学校給食の無償化、中学校全員給食、教育費軽減、国保税の値上げ計画中止、移動権の確保に取り組みたいです。課題は山積みですが、市民みんなで活動していけば、必ず実現できるはずですよ。



- ・全小中学校体育館へのエアコン設置
- ・8年前、当時市議団が訪問した時、洋式トイレなし。2021年、トイレの洋式化が2026年までの5か年計画で実施決定
- ・学校運営費の増額（※決算額） **118%増**
2017年度 1億2330万円
2021年度 1億4663万円
- ・インターナショナルスクールや朝鮮学校などの利用料補助制度の創設
- ・18歳までの子どもの医療費無償化（※所得制限有り・通院1回200円の自己負担は今後の課題）

- ・保育園の現況届が年2回から1回に
- ・生活道路補修経費の増額（※決算額） **177.6%増**
2017年 1億2500万円
2021年 2億2200万円
- ・前川の水害対策として河床改良、徳蔵寺橋付近へのバイパス設備、前川公園への貯留槽整備
- ・道路損傷等通報フォームで道路の損傷をスマホで市に通報できるように！



言論封鎖ではない！ひとりの黨員として思うこと

松竹信幸氏の著書、論文と日本共産党除名までの一連が注目を集めています。

日本共産党規約では、党内で自由に意見を言えることが決められています。

私自身、これまで異論反論、疑問点はしかるべき党内の会議で発言してきましたが、党から排除された経験は一度もありません。

今回の松竹氏の一連のことで一番残念なのは、「党内には言論の自由がないのでは」と誤解をされてしまう可能性があることです。

「言論の自由」の問題にされると違うよね、と思います。日本共産党が絶対に正しくて、絶対に間違えないといことではありません。みんなと一緒に話し合って決めているよ、次の道を探そうとしているよ、ということをお伝えしたいです。

私たちはいつでも学びの途中です。より豊かで自由な社会を実現するためにはどうしたらいいか、これからも話しあっていきます。

詳しくはブログをご覧ください→



かつて、党が同性愛に対して、ひどい差別と偏見を持っていた時代がありました。その過ちを2020年の28回党大会で認め、志位委員長は次のように述べています。

「(1970年代、「赤旗」に掲載された論文などで、同性愛を性的退廃の一形態だと否定的にのべたことについて、きちんと間違いと認めてほしいという黨員からの指摘について)これは当時の党の認識が反映したものにほかならないものだと思います。これらは間違いであったことを、この大会の意思として明確に表明しておきたい。」

ボランティア募集中！

- ・チラシ配布
- ・宣伝でプラスターを持つ
- ・宣伝カーに乗る
- ・SNSのバナー作成
- ・ご自宅の壁などにポスターを貼る

ご協力いただける方は浅見みどりまで



統一協会問題などスクープ 連発のしんぶん赤旗(月額 3497円)と赤旗日曜版(月額930円)をぜひご購入下さい。

2023年 3月号 浅見みどり通信 発行責任者■東村山市多摩湖町1-18-4 浅見みどり 080-3086-2422